

阿 字 の 故 郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院情報誌
編集者：川上修 註

●平成 22 年上半期の活動報告

本堂立柱式を宮大工棟梁により挙行

4月6日(火)午前10時より本堂木工事の始めに、柱を清め建てる立柱式が、宮大工棟梁の手により挙行されました。

参加者は、根岸広人一級建築士と建設委員会の白井好之会長を始め建設委員各位。

晴天の中、秦野の山口材木店より届いた主な柱を境内の中央に並べ、先ず住職が安全祈願と読経。次いで柱をつり上げながらそれぞれの位置へ納めていきました。

主な柱は殆どが丸柱で、背割りをせずに中心をくり抜いて、別の木を差し入れる古代の工法を取り入れた設計と成っています。

細かい割れは入るものの、大きな割れは起きず、全方向の力に耐えるような造りと成っています。柱の間を抜きで繋ぎ、木組みの柱だけで全体の調和を保ち、ある程度揺れることで耐震にも備えています。

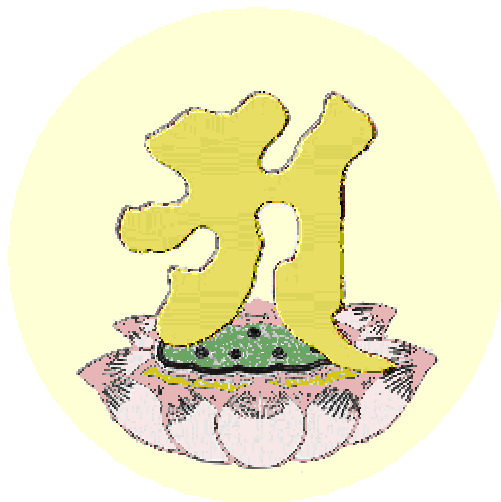
掲載の写真は、若い職人さん達が柱を安置している様子で、柱と石盤の接地面には鉛の板が敷かれて、腐食予防や虫除けとしての効果を長期に発揮していきます。



檀信協副支部長に白井精治さん就任

5月7日(金)午前10時より厚木ロワジールホテルで開催された、高野山真言宗の檀信徒協議会相模支部理事総会において、千手院檀信徒総代・護寺会の原田季昭副会長の後任として、同じく檀信徒総代・護寺会の白井精治副会長が檀信徒協議会相模支部副支部長(相模地区檀信徒総代の代表三役の一人)に推挙され就任の旨、寺報誌面にてご報告させていただきます。

阿字観瞑想法の派遣講師で住職出張



阿字観のご本尊さま

- 5月18日に高野山の奥の院と金剛峯寺
 - 5月24日に神戸の須磨寺正覚院
 - 6月2日に藤沢辻堂の宝珠寺
 - 6月15日に茅ヶ崎の湘和会堂
 - 6月20日に沖縄那覇の護国寺
 - 6月24日に高野山の大師教会
 - 8月30日に高野山の奥の院と金剛峯寺
 - 9月7日に奈良信貴山の玉蔵院
 - 毎月2回(土)に高輪の高野山東京別院
- 以上の場所へ、干手院住職が阿字観瞑想法の派遣講師として出かけております。
- 修行僧や青年教師、檀信徒や一般の方々

を相手に、有意義な経験を積ませて頂いて
おりますが、最近は実修希望の方が多く、
ご家族(幼児同伴)・カップル・団体などの
いろいろな方々がいらっしゃいます。

特に若い世代が多く、日々の相談や将来
の展望も含めて、互いの話を聞き合う場所
としても広く親しまれて来ています。

お寺は、命の有り様を、互いの経験を踏
まえて話し合い、多くの人々が老若男女を
問わず集まることを旨とする空間です。こ
れを「仏・法・僧」と言い、大切にしなけ
れば成らない宝物(三宝)として、現代の
お寺にも受け継がれて来ています。

この考えを元に、地域の方々がお茶菓子
を持ち寄って、お費銭をご喜捨すれば、何
時でも誰とでも過ごせる大事な居場所に成
っていけば良いと考えています。

大山代理参拝(閻魔十王講)を開催

5月29日(土)午前8時30分に辻堂駅で
待ち合わせ、その後に干手院で乗車待ちし
一路大山へと向かいました。(総勢33名)

雨降山大山寺では、国宝の不動明王さま
に読経奉納のお勤めをさせていただき、本

堂の周辺を散策の後ケーブルカーへ移動。
次いで、大山阿夫利神社下社において、
正式参拝をさせていただき、宮司様による
お話を伺い、御神酒も頂戴致しました。

小雨交じりに霞がかかったお山の風景は、
どことなく落ち着きのある雰囲気がい、
霊験をあらたかに感じながら、湯豆腐に揚
げ麩そばと大満足の大山登山となりました。

●平成22年初夏〜晩秋にかけてのご案内

本堂上棟式を本堂建設委員会が開催

6月27日(日)午前10時より本堂上棟式
を建設委員会主催で開催致します。

上棟式とは、本堂の骨組みが完成し、屋
根を貫く棟木を上げて、本堂の形態を整え
る大切な行事です。

また、これまで工事が無事に進んだ感謝
と、竣工に至るまでの加護を祈願し、今後
末永く禍無く幸多いことを祈り、工事に携
わる棟梁や職人に対しての慰労を執り行い
ますが、特に宮大工が主役であるために、

古来より工匠のお祭と言われています。

当日は、棟木を紅白の綱で引き上げ、棟札を祈願の後に安置。四方餅を散じて、天地の弓矢を引き、紅白餅を参列者にお配りした後、地元鳶職の木遣唄の中、宮大工さん達をお送りする作法を致します。

式典の後は、祝い膳を囲んで、宮大工さん達の労をねぎらい、お清めの般若湯で懇親を深めて頂きます。近隣の参加人数が読めませんので、お食事は有るだけを皆さんでつまんで頂く程度になると思います。

蘭益会卒塔婆のお申し込み受付開始

7月1日（木）からお盆のお塔婆の浄書を開始いたしますので、施主の変更が有る方は、6月末日までにご連絡下さい。

その他、名簿の追加や新益供養で施主名簿の人数が多い方は、なるべく早い時期にお申し込み下さい。

特に、新益供養の方は、お塔婆の基数が多い場合が有りますので、早期にご確認の程をお願い申し上げます。

※お塔婆は、1基2500円ですが、浄書代やお経料は事情によってお考え下さい。

手蘭益会と施餓鬼供養の法会を開催

8月10日（火）午後3時より開始します。
ご先祖様のご供養をし、お塔婆の開眼と、新益の精霊の特別供養を致しますので、皆様お誘い合わせの上ご参集いただきますようお願いいたします。

住職が読経で出仕予定の各地ご寺院

7月29日	広徳寺（小和田）	午後3時
8月1日	成就院（大庭）	午後3時
8月2日	輪光寺（円蔵）	午後2時
8月3日	善福寺（柳島）	午後1時
8月4日	長善寺（矢畑）	午後1時
8月5日	宝生寺（西久保）	午前10時
8月6日	満福寺（菟園）	午後2時
8月7日	宝珠寺（辻堂）	午後2時
8月8日	円蔵寺（十間坂）	午前11時
8月9日	成就院（甘沼）	午前11時
8月9日	泉蔵寺（片瀬）	午後3時
8月11日	長福寺（松林）	午後1時

※本年は、本堂工事等の都合で、住職が各寺院に伺うかどうかは検討中です。

棚経日程（住職の各家訪問の予定表）

7月13日～15日 鎌倉・横浜・東京地域
8月13日 元町・本村・松林・小和田・代官町・小桜町地域
8月14日 浜竹・出口町・美住町・松浪・ひばりヶ丘・松が丘地域
8月15日 城南・辻堂・赤松・長後地域

※出来るだけ多くのお家に伺う予定ではありますが、天候や緊急の用件等で左右されますので、お伺いできないこともございます。その点はご了承頂きますようお願い申し上げます。

秋季彼岸会・稲荷講（読経と茶話会）

9月23日（木）午前11時より。秋の収穫の時期に、境内のお稲荷様に、五穀豊穣と無事円満を感謝いたします。

大勢の方々が参加出来るように、秋の日を選んで行いますので、地域の稲荷講とは時期を異にしております。

読経の後、軽食を用意しておりますので、是非ご参列下さい。

平成22（2010）年の回忌一覧表

1	周忌	平成21（2009）年
3	回忌	平成20（2008）年
7	回忌	平成16（2004）年
13	回忌	平成10（1998）年
17	回忌	平成6（1994）年
23	回忌	昭和63（1988）年
25	回忌	平成2（1990）年
27	回忌	昭和59（1984）年
33	回忌	昭和53（1978）年
37	回忌	昭和49（1974）年
50	回忌	昭和36（1961）年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時を確認をしてからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合が有りますので、先着順とさせていただきます。ご了承ください。

◎必要事項は左記の内容です。

- ① 日時と場所の確認を一番にします。
- ② 卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。
- ③ 参加者の人数を前日までに確認。
- ④ 食事の有無と場所を確保します。
- ⑤ 生花と供物の注文を頼むか持参か。
- ⑥ 位牌と遺影は機に依りて考えましょう。

護寺会世話人名簿・○印は組長さん

※【☆】は、新任のお世話人さんです。

- 1組 新田 眞由美 濱須賀
- 水島 寅夫 小桜町
- 齋藤 功 代官町
- 2組 白井 好之（会長） 小和田
- 新倉 春生 小桜町
- 護寺会総務で、組長は預かり。

- 3組 原田 季昭（副会長） 小桜町
- 原田 幸徳（名誉会員） 小桜町
- 原田 吉一（書記） 出口町
- 4組 ○楠本 実（監査） 松林
- 新倉 秀春 小桜町
- 5組 ○白井 精治（総務） 代官町
- 6組 小池 忠 浜竹
- 白井 又三子 浜竹
- 7組 水嶋 富士雄 美住町
- 護寺会総務で、組長は預かり。
- 8組 ○原田 島雄（監査） 辻堂
- 9組 ○石橋 久照（会計） 城南
- 鈴木 奈々子 城南
- 10組 ○護寺会総務で、組長は預かり。

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

せん じゆ いん
千 手 院

〒253-0015 茅ヶ崎市代官町1番4号
 電話 0467(51)9758
 FAX 0467(51)0561
 ホーム <http://www.shusen.com/senjuin>
 メール senjuin@shusen.com